

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公表番号】特表2019-508942(P2019-508942A)

【公表日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2018-538717(P2018-538717)

【国際特許分類】

H 04 W 28/16 (2009.01)

H 04 L 27/26 (2006.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 92/20 (2009.01)

【F I】

H 04 W 28/16

H 04 L 27/26 1 1 3

H 04 W 72/04 1 3 1

H 04 W 92/20

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月6日(2020.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信の方法であって、

第1のセルにおいて、第2の近隣セルからその近隣セルに送信されたメッセージを受信するステップであって、前記メッセージが、前記第2の近隣セルが第1の送信時間間隔(TTI)を使用して優先送信をスケジュールされたことを示し、前記第1のTTIは、前記第1のセルおよび前記第2の近隣セルによって使用された共通TTIよりも持続時間が短い、ステップと、

前記スケジュールされた優先送信中、前記メッセージに少なくとも部分的に基づいて、前記第1のセルとユーザ機器(UE)との間の通信に関連付けられた通信パラメータを制限するステップと

を含む、方法。

【請求項2】

前記第1のセルと前記UEとの間の前記通信はダウンリンク(DL)通信である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記通信パラメータを制限するステップは、

前記スケジュールされた優先送信と整合するように選択されたギャップ時間中に、前記UEとの前記通信をミュートするステップを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記ギャップ時間は、前記第1のTTIと同じである持続時間を含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記優先送信は、前記第1のセルの前記TTIの单一のインスタンス中に前記第1のTTIを使

用する複数の優先送信を含み、前記UEとの前記通信は、前記複数の優先送信の各々の間にミュートされる、請求項3に記載の方法。

【請求項 6】

前記通信パラメータを制限するステップは、

前記UEとの前記通信がDL通信であることに少なくとも部分的に基づいて、前記DL通信に関連付けられた電力フォールバックパラメータを識別するステップと、

前記電力フォールバックパラメータを使用する前記UEとの前記DL通信が前記優先送信と干渉しないと判断するステップと、

前記電力フォールバックパラメータを使用して、かつ前記優先送信とオーバーラップするように選択された時間中に、前記UEと通信するステップと

を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 7】

前記通信パラメータを制限するステップは、

前記UEとの前記通信が、干渉閾を下回る前記優先送信との干渉を引き起こすと判断するステップと、

前記判断に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のTTIを使用して前記優先送信とオーバーラップするように選択された時間中に、前記UEを通信用にスケジュールするステップと

を含み、

前記UEとの前記通信によって引き起こされた前記干渉が前記干渉閾を下回ると判断するステップが、前記第1のセルのカバレージエリア内での前記UEのロケーション、前記UEとの前記通信の干渉レベルが閾値を下回ること、前記UEとのDL通信を前記UEとのアップリンク(UL)通信に変換すること、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つに基づく、

請求項2に記載の方法。

【請求項 8】

前記通信パラメータを制限するステップは、

前記UEとの前記通信が前記優先送信と干渉すると判断するステップと、

前記優先送信中に、前記UEを通信用にスケジュールするのを控えるステップと  
を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 9】

前記第1のセルと前記UEとの間の前記通信はUL通信であり、前記通信パラメータを制限するステップは、前記スケジュールされた優先送信と整合するように選択されたギャップ時間中に、前記UEとの前記通信をミュートするステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

前記通信パラメータを制限するステップは、

前記UEとの、および少なくとも1つの他のUEとの前記通信が前記優先送信と干渉しないと判断するステップと、

前記TTIを使用して、かつ時分割多重化(TDM)方式に従って、前記UEおよび前記少なくとも1つの他のUEを通信用にスケジュールするステップと

を含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記第1のセルは、前記第2のセルの1ホップ隣接セルである、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

前記メッセージは、優先送信インジケータフィールド、前記優先送信に関連付けられた優先UEの識別(ID)パラメータ、前記優先送信に関連付けられた前記優先UEのロケーションパラメータ、前記第1のTTIに関連付けられたタイミングパラメータ、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 13】

前記メッセージは、前記第2のセルからX2バックホール通信リンクを介して受信される、請求項1に記載の方法。

## 【請求項 1 4】

ワイヤレス通信のための装置であって、

第1のセルにおいて、第2の近隣セルからその近隣セルに送信されたメッセージを受信するための手段であって、前記メッセージが、前記第2の近隣セルが第1の送信時間間隔(TTI)を使用して優先送信をスケジュールされたことを示し、前記第1のTTIは、前記第1のセルおよび前記第2の近隣セルによって使用された共通TTIよりも持続時間が短い、手段と、

前記スケジュールされた優先送信中、前記メッセージに少なくとも部分的に基づいて、前記第1のセルとユーザ機器(UE)との間の通信に関連付けられた通信パラメータを制限するための手段と

を備える、装置。

## 【請求項 1 5】

請求項1~13のいずれか一項の記載の方法を実施するための命令を備える、コンピュータプログラム。